

第98回全国高等学校野球選手権沖縄大会の会場変更についての意見書

今回、オール沖縄会議の主催で、4月28日に発生した事件に抗議する県民大会が6月19日、奥武山陸上競技場を会場として開催される事が決定しております。

同じく6月19日には、第98回全国高等学校野球選手権沖縄大会が沖縄セルラースタジアム那覇にて一回戦3試合を行う予定でありましたが、県高校野球連盟はその混乱を避けるという口実で他の会場に変更して行うと聞いております。

沖縄セルラースタジアム那覇は旧奥武山球場時から県内高校球児の聖地といっても過言ではありません。そこでプレーができるという事が高校球児の夢なのです。今回、その球児の夢である会場を移してまで行う抗議大会は県民全体の理解を得られるどころか逆に反発を招くのではないのでしょうか。高校野球はあくまで教育の一環であり、学習の場である事には変わりはありません。6月19日の開催は以前から決定している事であり、抗議大会の主催者であるオール沖縄会議の3名の共同代表者や事務局方は、夢と希望をもって健全にスポーツに取り組む子供達に対し配慮して、奥武山公園施設以外での選択はなかったのか疑問に感じ残念でなりません。

今回の事件に対する県民大会を開催することは当然であり、賛同もいたします。しかし、この「県民大会」は沖縄県知事を中心とした超党派の県民総意の了承のもとに、本来の意味での「県民大会」にすべきです。

よって、人権及び教育的見地から高校野球関係者に対しても配慮し、県民大会の会場の変更を促していただき、選手権沖縄大会も県民大会も県民総意で開催されるよう要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年6月14日

沖縄県豊見城市議会

あて先 沖縄県知事、沖縄県教育委員会教育長、那覇市長